



秋田県立大学・読売新聞秋田支局共催

# 県大・読売講座

～研究力と分析力で秋田の未来を読む～  
県大教員による講座と支局の若手記者による取材報告

## ▶ データサイエンスが拓くDXの未来 高校数学からその先の数理への展開

木村 寛 教授



DX(デジタルトランスフォーメーション)とは何か。データサイエンスやDXは、これからのビジネスや経営、社会システムにおけるイノベーションの中心になると言われています。本講座ではDXの事例を踏まえてDXとは何かについて解説します。また、DXを考える上で最適な戦略を数理的にアプローチする数理最適化やゲーム理論の基本的な考え方を紹介します。特に、“生産計画最適化”や、輸送コストを最小化する“ネットワーク最適化”、最適な人員配置を計画する“スケジューリング最適化”、“非協力ゲーム”、“協力ゲーム”の考え方について解説します。さらに本学のデータサイエンスの取り組みについて、特に、情報工学科と経営システム工学科について紹介します。

▶ 配信期間 8/20 SAT ▶ 9/3 SAT

▶ 申込締切 8/17 WED

## ▶ 新技術とDXによるスマートフードチェーン 秋田県産ラズベリーのブランド化をめざして

今西 弘幸 准教授



これまでのキイチゴ(ラズベリー)の産地化の取り組みと地方創生推進交付金(Society5.0タイプ)事業のなかで現在進めている課題「生鮮果実のスマートフードチェーンの構築」について紹介します。地域と本学との産地形成に関する共同研究や生産者・実需者・自治体・金融機関などが参画している「あきたキイチゴ活用研究会」を核とした産地づくりが進み、2018年から秋田県のラズベリー出荷量は全国1位になっています。地方創生推進交付金事業では、既存技術の改良と融合による新技術の構築を図り、生産者と実需者とのマッチングシステムの導入を試行します。DX推進による秋田県産ラズベリーのブランド化をめざした今後の展望をお話しします。

▶ 配信期間 9/3 SAT ▶ 9/17 SAT

▶ 申込締切 8/31 WED

## ▶ 森林・林業・木材が秘めた大いなる可能性 秋田県立大学・木材高度加工研究所の挑戦

高田 克彦 教授



21世紀に入り20年が経過した現在、温暖化の進行に代表される地球環境の劣悪化はもはや疑いようのない事実と認識されるに至っています。その結果、森林の適正な保全や管理及び森林資源の効率的な利活用への「期待」は、それらを確実に実行する「義務」へと変化しています。本講座では、森林・林業・木材とSGDsの関係を読み解くとともに、炭素循環の見地から森林・林業・木材の機能を概説します。その上で、地球環境保全と地域創生・活性化に向けた秋田県立大学・木材高度加工研究所の研究・開発事例を紹介します。

▶ 配信期間 9/17 SAT ▶ 10/1 SAT

▶ 申込締切 9/14 WED

### 申込方法 ——— 受講無料(要予約) ———

秋田県立大学HP (<https://www.akita-pu.ac.jp/>)

または下記QRコードの専用申し込みフォームよりお申し込みください。

- お申し込みいただいた方には、開催日の3日前を目処に、受講用のYouTubeアドレス等、受講に必要な情報をメールにてお知らせします。
- 特定の回のみのお申し込みも可能です。

申込締切 上記のとおり、各回で申込締切日が異なります。ご注意ください。

■申込締切前であれば、まとめてのお申し込みも可能です。

お問い合わせ

秋田県立大学 秋田キャンパス企画チーム

TEL 018-872-1522

〒010-0195 秋田県秋田市下新城巾着道端西 241-438

【個人情報の取扱いについて】

申込みの際にご記入いただいた個人情報は、公開講座・公開講演会開催の案内など本学からの情報提供以外の目的で使用することはありません。

